

SPSS Ver26コンピュータライセンス手順 (Windows)

1. 初期設定 (学外利用の最大可能日数の変更)

学外利用時の最大可能日数を予め既定値の7日間から30日間に変更しておく

- ①メモ帳を右クリックし管理者として実行
- ②SPSSのインストールディレクトリにあるspssprod.infファイルを開く
例)ローカルディスク(c:)-ProgramFiles-IBM-SPSS-Statistics-26- spssprod.inf
- ③CommuterMaxLifeの値を7から30に書き換えて保存
【注意】・最大可能日数の変更は一度行くと30日で保持される
・30日を超える設定は無効
・spssprod.infの他の設定は変更しないこと



```
CodePage=65001  
Copyright Copyright (c) IBM Corp. 1989, 2019.  
CommuterMaxLife=7
```

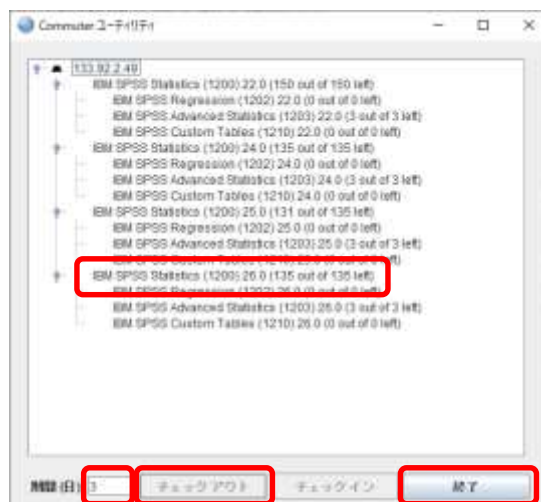
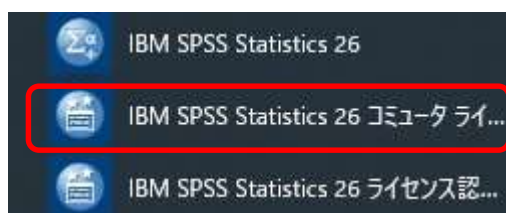
2. 学外利用手続き

PCが学内ネットワークに接続された状態で行う

- ①スタートメニューから「IBM SPSS Statistics」- 「IBM SPSS Statistics 26コンピュータライセンス」を選択
- ②「IBM SPSS Statistics 26.0」モジュールを選択して(学外利用)期間(1~30日)を入力後「チェックアウト」を選択、期間の初期値は3日で利用期間に応じ最大30日まで変更可能
学外利用が可能になると赤いチェックマークが付くので「終了」を選択
- ③「Advanced Statistics」モジュールを学外利用する場合は同様に行う
学外利用数が上限に達するとエラーコード77になり学外利用手続きはできない

【注意】学外利用手続き後は学内で利用する場合も利用できるモジュールが学外利用手続きの範囲に制限される

学内で全てのモジュールを使用したい場合は3. 学外利用の解除を 実施する



3. 学外利用の解除

学外利用期間内に利用が終了した場合はPCを学内ネットワークに接続し「チェックイン」を行うことで学外利用が解除される

学外利用期間が過ぎた場合は自動的に解除されるため操作は不要

- ①スタートメニューから「IBM SPSS Statistics」－「IBM SPSS Statistics」26コミュニティライセンスを選択
- ②「IBM SPSS Statistics 26.0」モジュールを選択して「チェックイン」を選択
赤いチェックマークが消えたのを確認し「終了」を選択
- ③「Advanced Statistics」モジュールを学外利用していた場合は同様に行う

